



2022年7月29日

株式会社 阿波銀行

一般社団法人ひまわりの会の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、一般社団法人ひまわりの会（代表理事 稲井 清美、本社：徳島県三好郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	一般社団法人ひまわりの会
所在地	徳島県三好郡東みよし町加茂 3653 番地 1
代表者	稲井 清美
業種	社会保険福祉事業
設立	2011年6月29日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月29日



一般社団法人ひまわりの会 代表理事 稲井 清美

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	地元人材の活用	雇用を通じた地域振興のため、様々な地元人材の活用を推進します。	①障がい者就労支援、障がい者雇用		
			②2025年までに1名以上雇用		
環境	環境に配慮した製品作り	環境に優しい、徳島県産の木を使ったパレットの製造販売を推進します。	①地域の木材を生かした新商品開発		
			②2025年までに環境配慮製品の開発1件実施		
社会・経済	耕作放棄地の有効活用	自社グループホームで消費する食糧を自家製にて賄い、持続可能な農業の推進を行います。	①耕作放棄地に米や農作物等を育て、自社グループの自給自足に活用		
			②2025年までに食糧自給率50%		
社会	働きやすい職場環境の整備	『働ける』『続けられる』を仕事や生活面からサポートします。	①時短勤務やフレックスタイムの導入		
			②2025年までに100%導入		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。